

2019年度 東京成徳大学卒業時アンケートの結果概要(大学全体)

I 調査の概要

- (1) 目的 東京成徳大学が目指す「学修成果」を本学卒業予定者がどの程度身に付けているか検証す
(2) 対象 2019年度卒業生予定者(9月卒業者を含む)

全体	412人
日本伝統文化学科	22
国際言語文化学科	21
福祉心理学科	18
臨床心理学科	68
健康・スポーツ心理学科	61
子ども学科	140
経営学科	82

- (3) 方法 各学科による学内にて回収(実施率100%)

- (4) 期間 2019年11月20日～12月20日

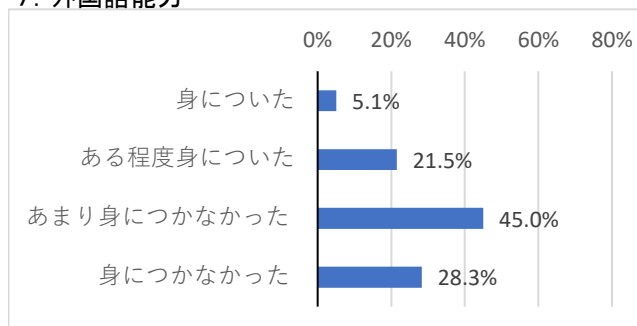
- (5) 回収状況

(2020.02.29)

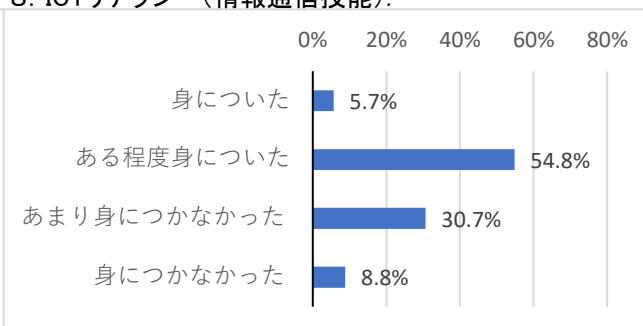
	回答数			回収率
	計	女	男	
全体	354	221	133	85.9%
日本伝統文化学科	13	10	3	59.1%
国際言語文化学科	18	14	4	85.7%
福祉心理学科	15	10	5	83.3%
臨床心理学科	52	32	20	76.5%
健康・スポーツ心理学科	55	16	39	90.2%
子ども学科	127	116	11	90.7%
経営学科	74	23	51	90.2%

Ⅲ 下記の学修内容はどの程度身につきましたか？

7. 外国語能力

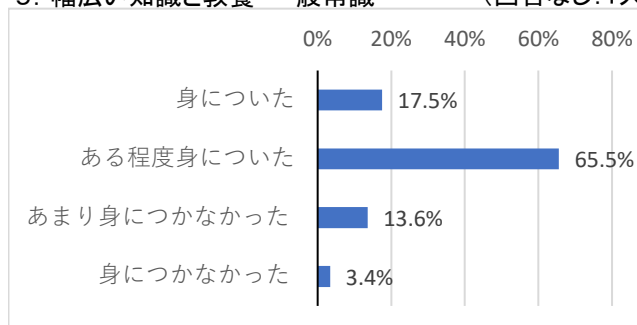


8. ICTリテラシー(情報通信技能)



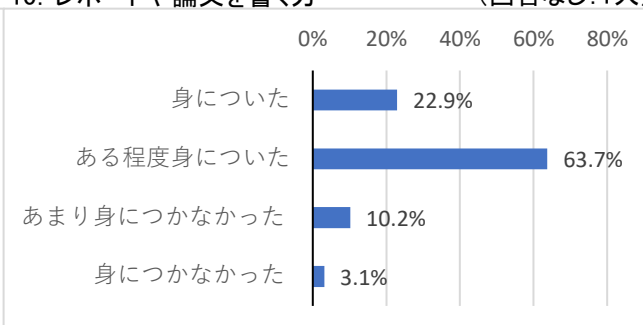
9. 幅広い知識と教養・一般常識

(回答なし:1人)

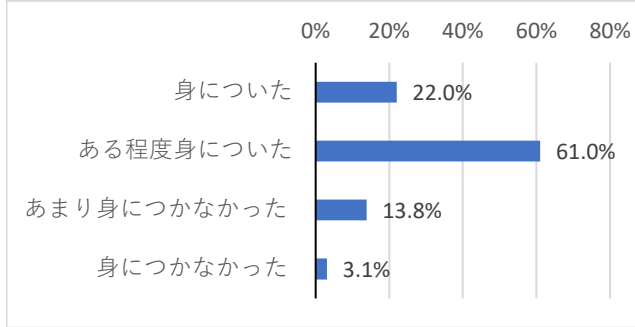


10. レポートや論文を書く力

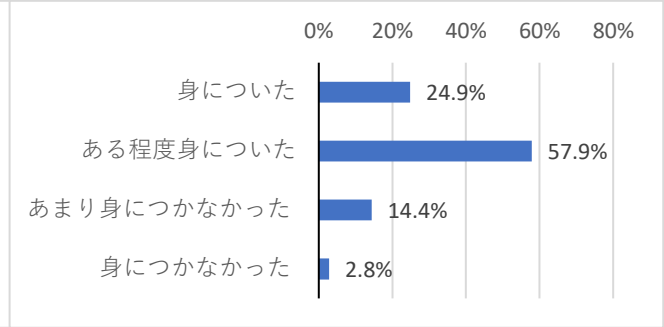
(回答なし:1人)



11. 専門的な知識とスキル

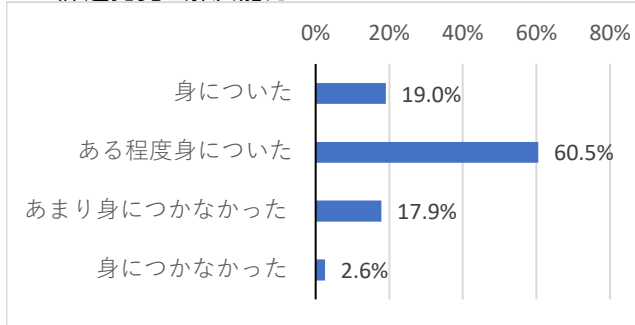


12. 自主性・主体性

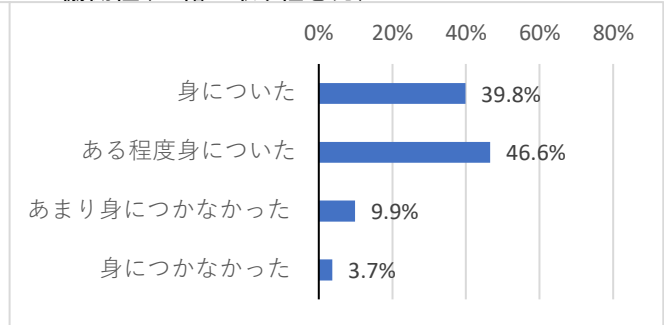


13. 課題発見と解決能力

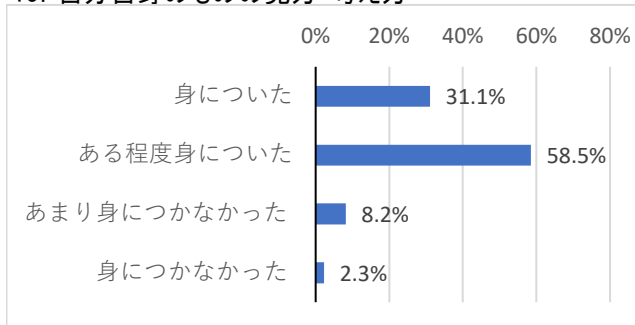
(回答なし: 1人)



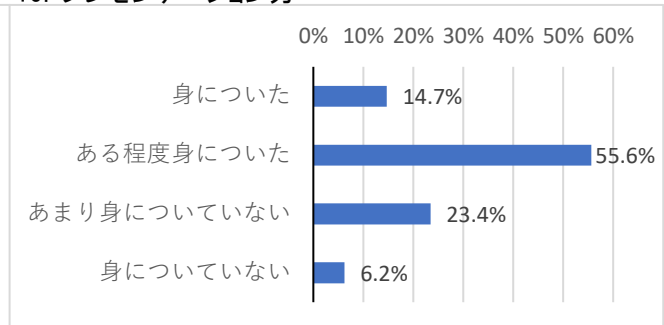
14. 協働性(一緒に取り組む力)



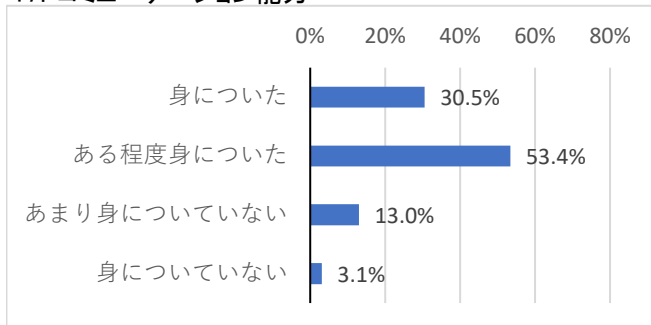
15. 自分自身のものの見方・考え方



16. プレゼンテーション力

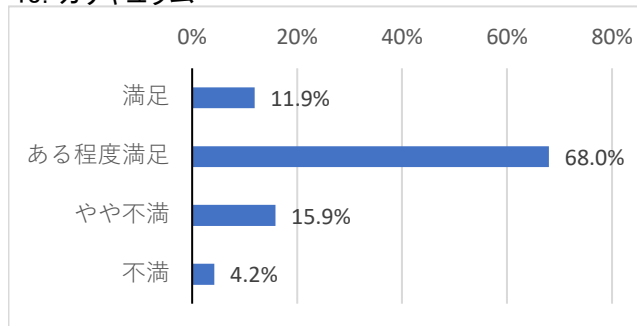


17. コミュニケーション能力

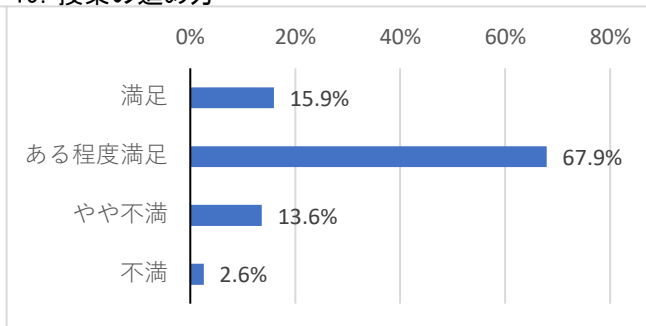


Ⅳ 下記の本学の取り組みについて、どの程度満足していますか？

18. カリキュラム

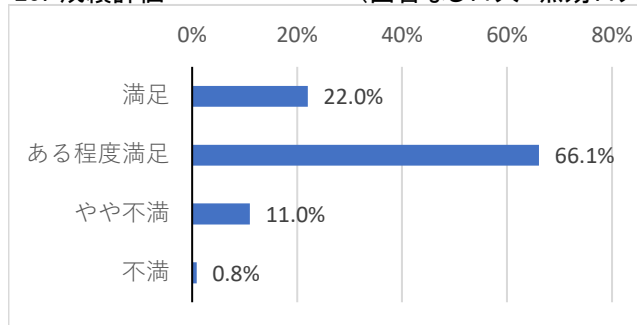


19. 授業の進め方



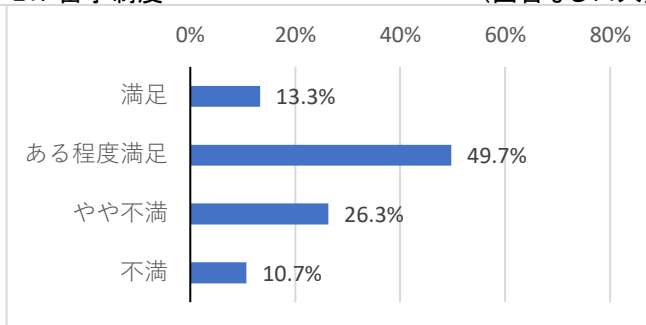
20. 成績評価

(回答なし:1人 無効:1人)

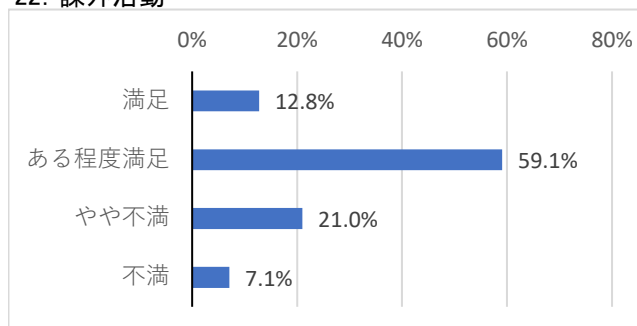


21. 留学制度

(回答なし:4人)

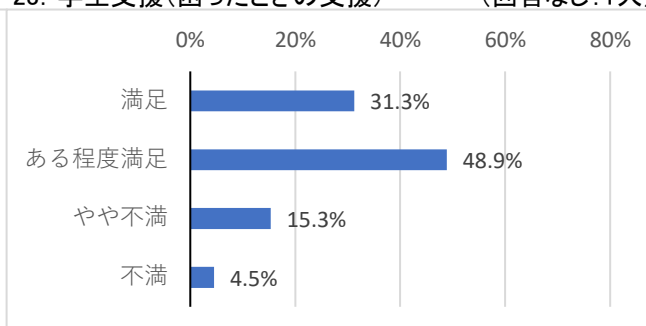


22. 課外活動

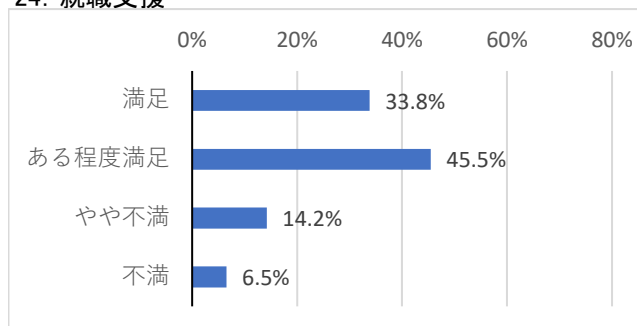


23. 学生支援(困ったときの支援)

(回答なし:1人)

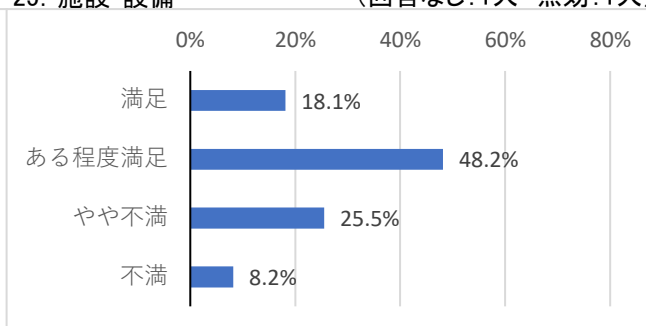


24. 就職支援



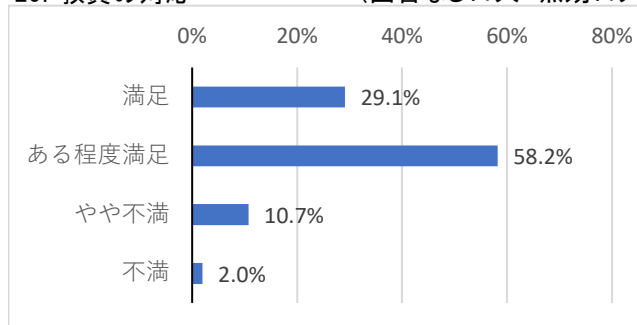
25. 施設・設備

(回答なし:1人 無効:1人)



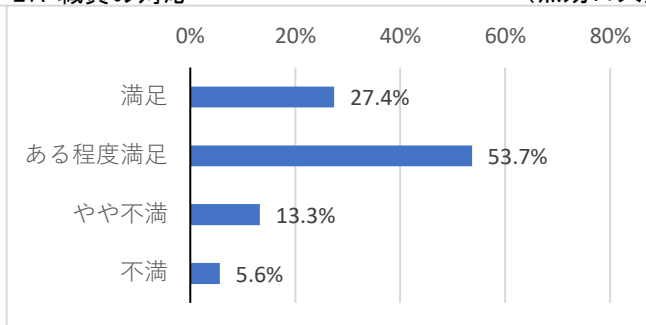
26. 教員の対応

(回答なし:1人 無効:1人)



27. 職員の対応

(無効:1人)



2019年度 東京成徳大学卒業時アンケート結果の主要Facts

1. ディプロマポリシーの達成度（4点満点，以下同じ）

	DP番号	平均※	
		2019	2018
日本伝統	3	3.0	3.1
	4	3.4	2.9
国際言語	3	2.9	3.2
	4	3.2	3.4
	5	3.1	3.3
福祉心理	3	3.3	3.1
	4	3.1	3.1
	5	2.9	2.8
臨床心理	3	3.3	3.4
	4	3.2	3.2
	5	3.1	3.2
健康・スポーツ	3	3.1	3.2
	4	3.1	3.1
	5	3.1	2.9
子ども	3	3.1	3.1
	4	3.1	3.0
	5	3.1	3.0
	6	3.1	2.9
経営	3	2.9	2.8
	4	2.9	2.8
	5	3.0	3.0

※ 赤字：高得点 好転 後退（以下同じ）

※※「身についた＝4、ある程度身についた＝3、あまり身につかなかった＝2、身につかなかった＝1」及び「満足＝4、ある程度満足＝3、やや不満＝2、不満＝1」とする加重平均。

2. 学修内容がどの程度身についたのか

学修内容（「学修調査」をベースとする）		平均※	
		2019	2018
1. 外国語能力		2.0	2.1
2. ICT リテラシー		2.6	2.6
3. 教養・基礎的スキル	幅広い知識と教養・一般常識	3.0	2.9
	レポートや論文を書く力	3.1	3.0
4. 専門知識・スキル		3.0	3.1
5. 社会人基礎力	自主性・主体性	3.0	3.0
	課題発見と解決能力	3.0	2.9
	協働性	3.2	3.3
6. 総合力	自分自身のものの見方・考え方	3.2	3.3
	プレゼンテーション能力	2.8	2.8
	コミュニケーション能力	3.1	3.2

3. 本学の取り組みについての満足度

本学の取り組み	平均※	
	2019	2018
カリキュラム	2.9	2.9
授業の進め方	3.0	3.0
成績評価	3.1	3.1
留学制度	2.7	2.7
課外活動	2.8	2.9
学生支援（困ったときの支援）	3.1	3.0
就職支援	3.1	3.0
施設・設備	2.8	2.6
教員の対応	3.1	3.1
職員の対応	3.0	3.0

(参考：各学科のディプロマポリシー)

●日本伝統文化学科

3. 伝統文化を深く理解し広く伝える知識、能力を身につける。
4. 体験を通じて協調性を養い責任ある行動をとれる。

●国際文化学科

3. 英語、中国語、韓国語を中心とした言語運用能力を身につける。
4. さまざまな背景をもつ多文化に対する深い理解を身につける。
5. 母語も含めて、多様な考え方をもち海外の人々とコミュニケーションできる知識や能力を身につける。

●福祉心理学科

3. 利用者ニーズにそった相談・支援ができるための受容・共感・傾聴の技能を身につける。
4. 援助や支援を必要とする人びとを支援するための社会福祉学、心理学や教育学、医学などの知識、能力を身につける。
5. ソーシャルワーク、教育（福祉科、特別支援教育）などの実践の場に求められる専門的な知識、能力を身につける。

●臨床心理学科

3. 自他の心の問題への理解を深めるための諸分野の心理学の知識、能力を身につける。
4. 他者をサポートするための臨床心理学や医学などの知識、能力を身につける。
5. 社会における自他の役割を自覚し、その仕事を通して社会貢献できるための、知識、能力を身につける。

●健康・スポーツ心理学科

3. 共生とコミュニケーションの実践を図るうえで必要となる健康とスポーツに関する知識を含めた幅広い教養を身につける。
4. 健康・スポーツ心理学の専門知識・技術を修得し、心身の健康維持と増進について自ら図れるとともに、他者への支援もおこなえる。
5. 健康とスポーツに関連する実践的職業人として社会で活躍できるマインドと就業基礎力を身につける。

●子ども学科

3. 多様化する社会の中で子ども問題に幅広い知識を持ち、問題解決能力を身につけている。
4. 子どもやその発達過程、また子どもたちを取り巻く環境について高い知識を持ち、それを適切に評価する能力を有している。
5. 子どもに関わる諸問題を総合的に理解し、それを子育て支援や乳幼児・児童期における保育・教育に携わる領域で実践できる知識、技能を有している。
6. 子どもの成長をサポートする領域で、それを最大限に支援する立場になる人材として、より多様で質の高い知識、技能を有している。

●経営学科

3. 多面的履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、経営を理解し、社会や市場における生活者や消費者、職場で共に働く人々について広く理解を深めるために専門領域を超えて問題を探求する姿勢と実践力を身につける。
4. 体系的学習と学際的学習とを通して、現代社会の多様な課題を発見、分析、解決する能力を身につける。
5. 4年にわたる学修やビジネスアイデアコンテスト等を通して、知識の活用能力、批判的・論理的思考能力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力など基礎的・汎用的な能力を身につける。